

# 教育研究業績

2022 年 5 月 1 日

氏名 高瀬 浩

研究分野 マーケティング	学 位 修士 (経営学)
-----------------	-----------------

## 研究のキーワード

マーケティング、サービスマーケティング、ブランドマネジメント、経営戦略

## 教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1) 埼玉りそな銀行、富士通、KADOKAWAへのサクラタウンコイン活用方法についての提案を通じてゼミ生への実践的教育	2021年11月 ～2022年1月	埼玉りそな銀行地域ビジネス部の新規事業としてスタートしたサクラタウン (KADOKAWAが運営) 内の店舗で使用可能な地域限定電子コイン (富士通が技術面サポート) の普及方法についての提案を通じて、ゼミ生たちに実践的なマーケティング力、企画力などを醸成している。
2) 日本経済新聞社主催・野村ホールディングス特別協賛の金融・経済学習コンテスト「第8回、第22回 日経ストックリーグ (大学生の部)」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2021年10月 ～2022年1月 2007年10月 ～2008年1月	金融・経済学習コンテスト「日経ストックリーグ」に専門ゼミで参加し、株式を通じて日本の経済や社会の動きを把握する力と分析力を醸成している。
3) 一般社団法人学生サポートセンター主催「2021 第19回 学生ビジネスプランコンテスト」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2021年10月15日	「学生の創造性涵養助成事業」として、学生らしい自由な発想で創造性に富んだビジネスプランを競うコンテストに、ゼミで2チームが参加し、準備等を通じて、マーケティングの視点で創造力、企画力、論理的思考力などを醸成している。
4) 株式会社宣伝会議主催「第11回、第13回 販促会議企画コンペティション」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2021年6月3日、 2018年6月5日	協賛企業から出される商品・サービスのプロモーションについての課題を受け、解決策となるアイデアを企画書形式で提案するコンペにゼミで参加し、コンペへの準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している。
5) 全国FM放送協議会主催「JFN 学生ラジオ CMコンテスト 2018、2020、2021」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2021年5月20日、 2020年5月20日、 2018年5月20日	全国FM放送協議会主催「JFN 学生ラジオ CMコンテスト 2018、2020、2021」にゼミで参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している。
6) NPO法人さやま協働ネット主催、狭山市、狭山市商工会議所他後援「2020 狭山市 地域活性化 アイデア・コンテスト」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2020年2月2日	埼玉県狭山市にある狭山市市民交流センターで開催された大会にゼミで2チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している。うち1チームが最優秀賞を受賞した。
7) 狭山市商工会議所、狭山市産業労働センター共催「第1回さやまビジネスプランコンテスト」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2019年3月9日	埼玉県狭山市にある狭山市産業労働センターで開催された大会にゼミで1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している。設定された3賞のうち、準グランプリと創業賞のダブル受賞となった。
8) 一般社団法人日本フードサービス協会主催「外食インカレ2018、2019」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2019年9月27日 2018年10月12日 2018年8月31日	一般社団法人日本フードサービス協会主催「外食インカレ2018、2019」においてゼミで2018では2チーム、2019では1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している。2018ではうち1チームが、応募総数138チーム中、一次審査を通過し30チームに選ばれ二次審査に進む。
9) 大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会主催、観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省、日本観光振興協会、日本旅行業協会等後援「大学生観光まちづくりコンテスト2018・茨城ステージ」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2018年9月5日	茨城県水戸市にある茨城県庁講堂で開催された大会にゼミで1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している (茨城ステージでは全国から多くのチームが参加し、ポスターセッション部門出場枠20チームに選ばれる)。

10) 大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会主催、観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省、日本観光振興協会、日本旅行業協会等後援「大学生観光まちづくりコンテスト2017・北陸ステージ」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2017年9月5日	石川県金沢市にある金沢アートホールで開催された大会にゼミで1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している（北陸ステージでは全国から54チームが参加し、ポスターセッション部門出場枠20チームに選ばれる）
11) 栃木県、那須塩原市、JR東日本旅客鉄道会社大宮支社、朝日新聞宇都宮総局、下野新聞社、NHK宇都宮支局、エフエム栃木等後援「大学ゼミナール那須塩原市活性化プレゼン大会 2016」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2016年11月20日	栃木県板室健康の湯グリーングリーンにて開催された、新たな観光地「板室温泉」を目指してアイデアを競うプレゼン大会にゼミで1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している（大会では本選に進んだ10大学11チームの中から準グランプリ・2位を受賞をしている）。
12) 大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会主催、観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省、日本観光振興協会、日本旅行業協会等後援「大学生観光まちづくりコンテスト2016・山梨ステージ」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2016年9月10日	山梨県笛吹市スコーレセンターで開催された大会にゼミで1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している（山梨ステージでは、37大学80チーム458名が参加し、ポスターセッション部門で書類審査を経て参加した30チームの中から優秀賞・1位を受賞）。
13) JR東日本 鉄道事業本部との合同プロジェクトを通じたゼミ生への実践的教育	2016年6月2日 2016年3月28日 2015年11月16日	JR東日本 鉄道事業本部とプロジェクトを組み、計3回にわたり、若者の鉄道離れにおける利用促進策や大学生とJR東日本との持続的な関係性の構築などについての討議及び研究発表会を開催する。
14) 目白大学社会情報学部長崎ゼミとの合同ゼミでの研究を通じたゼミ生への実践的教育	2015年7月23日 2015年4月21日	目白大学社会情報学部長崎ゼミとの合同ゼミを2回実施。その後、両大学のゼミにて統一テーマで研究を進め、7月に電通、毎日新聞社インターブランド社の方などに来て頂き、プレゼン大会を開く。
15) 「2013 那須塩原市地域活性化アイデアコンテスト」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2013年12月8日	大会にゼミで1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している。
16) 大学生観光まちづくりコンテスト運営協議会主催、観光庁、文部科学省、総務省、経済産業省、日本観光振興協会、日本旅行業協会等後援「大学生観光まちづくりコンテスト・東日本ステージ大会」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2013年9月19日	河口湖で開催された大会にゼミで1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している（大会では参加113チームの中、予選通過を果たし、本選出場枠の16チームに残りベスト16）。
17) 「第2回 大学ゼミ対抗 プレゼンテーション2011 那須塩原大会」参加を通じてゼミ生への実践的教育	2011年12月25日	大会にゼミで1チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している（大会では西那須野観光協会会長賞を受賞）。
18) 平成21～23年度 文部科学省 大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）の事業取組責任者として運営推進及びFD講習会開催	2009年4月 ～2012年3月	学生支援推進プログラムの事業取組責任者として、大学内における教育の質を担保する「学習・キャリア支援センター」を設立し運営している。 また、事業期間である平成21～23年度にわたる3年間に年2回、教員対象向けのFD講習会を計6回主催している。
19) 「第48～59回 日本学生経済ゼミナール関東部会 インナー大会」におけるプレゼンテーションの部 参加を通じてゼミ生への実践的教育	2019年10月 6日 2018年10月 7日 2017年10月 7日 2016年10月 9日 2015年 9月13日 2014年 9月13日 2013年9月22日 2012年9月23日 2011年10月 2日 2010年10月 3日 2009年10月11日 2008年10月12日	毎年秋に行われる、各大学から110～180チームが参加する大会にゼミで3チームが参加し、大会への準備等を通じて、創造力、企画力、情報収集力、論理的思考力、プレゼン力などを醸成している（特に、第48回大会ではゼミの1チームが参加110チームの中で予選ブロック1位で全体ではベスト8、第53回大会では参加178チーム中、予選ブロック1位で全体ではベスト15、第56回大会では参加139チーム中、予選ブロック2位で全体ではベスト24）。

20) 学部教育におけるケースメソッド教育の実践	2007年4月 ～現在	西武文理大学の必修科目「基礎経営学」を週2回で講義＋演習という新しいスタイルで実施。特に、演習ではケースメソッド方式の演習を取り入れ、文部科学省委託事業「サービス・イノベーション人材育成プログラム」の一環としても役割も果たしている。
2 作成した教科書, 教材		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
1) イーツアー株式会社 社外取締役	2007年6月 ～2012年5月	ネット専門の旅行会社で5年間で、今までの経験を活かして、経営全般において重要事項の決定や企業統治に携わってきた。
2) 東京観光財団 コンベンションアドバイザーボード	2008年4月～ 2009年3月	世界に後れを取っている、東京におけるMICE事業の今後の展開を諮問する委員会のメンバーとして、東京観光財団を通して東京都に提言する。併せて、観光人材の育成にも力を注ぐ(講師も務める)。
3) 株式会社ジェイティービー(JTB) 野村ツアーリスト事業部 事業部長	2002年4月 ～2004年3月	2002年4月に野村証券からJTBへのグループ会社(野村ツアーリスト) 営業権譲渡に伴い、JTB内に新設された事業部の責任者として戦略策定から人事まで経営全般を任される。
4) 株式会社ジェイティービー(JTB) 団体旅行日本橋支店 営業一課長 (営業統括課長)	1997年2月 ～2002年3月	JTB有数の大型支店(全体で115名)の営業統括責任者として、支店の経営戦略を策定。それらの戦略を実践・統括する責任者としてその任にあたる。
5) 株式会社ジェイティービー(JTB)にて社長賞	1991年3月	社内懸賞公募論文「2001年ビジョンを考える」で社長賞を受賞。GROUP(グループ戦略)、ASSETS(資金・資産戦略)、IDEA(アイデア知的戦略)、NETWORK(ネットワーク情報戦略)の4つの事業戦略を掲げ、その頭文字から「GAIN 21」と名付け、21世紀を先取りする社会に貢献できる企業を目指すビジョンを制定。
5 その他		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許	2002年7月  1982年3月 1982年3月	旅行業務取扱主任者(現:総合旅行業務取扱管理者)資格 高等学校教諭2級普通免許状(現:1種免許状) 社会 中学校教諭1級普通免許状(現:1種免許状) 社会科
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1) 日本ダイレクトマーケティング学会 理事	2019年7月～ 現在に至る	
2) Direct Marketing Review (Journal of the Academic Society of Direct Marketing) 日本ダイレクトマーケティング学会 学会誌 編集委員	2019年7月～ 現在に至る	
4 その他		
1) 「このとりブランドマーク」(埼玉県鴻巣市主催) 選定審査委員	2022年1月～3月	埼玉県鴻巣市主催で広く一般に募集していたコウノトリの里づくりを推進する「このとりブランドマーク」のデザイン選定において審査委員を務める。

2) 早稲田大学 第1回、第2回、第3回 次世代リーダー フォローアップ 研修 講師	2021年12月10日 2020年12月16日 2019年10月4日	2018年度、2019年度、2020年度に実施した、早稲田大学の中核を担う次世代リーダーを対象にその後のフォローアップを目的とした職員研修。「ワールドカフェ」や「オープン・スペース・テクノロジー (OST)」を活用した具体的な課題解決策を導く実践型のグループワーク研修を行う。
3) 大学教職員向けオンラインセミナー 「経営戦略の基礎」～自大学が競争優位を確立するために～	2021年11月19日	全国の大学職員向けのオンラインセミナーで、内容は外部環境と内部環境を複合的に捉え、自大学の競争優位を確立するための経営戦略の基本的なフレームワークを紹介し、他大学との差別化を図り、持続的な成長を遂げる経営戦略のあり方などを講義。
4) 早稲田大学 第1回、第2回、第3回、第4回 次世代リーダー研修 プログラム・コーディネーター&講師	2021年7月21日～ 2022年1月28日 2020年8月5日～ 2021年1月29日 2019年8月21日～ 2020年1月24日 2018年8月22日～ 2019年1月23日	早稲田大学の組織運営の中核を担う次世代リーダーを対象にした職員研修全体 (計12回) のプログラムを統括し、一部講師 (計6回) も兼ねる。講師としては、「マネジメント概論」、「経営戦略」、「マーケティングⅠ、Ⅱ」、「オペレーション戦略」、「企画立案Ⅰ、Ⅱ」を講義。
5) 龍谷大学 職員研修 講師	2020年12月2日	龍谷大学 各部署の副参事級 9～10年目の職員を対象に「経営戦略研修」について講義とグループ・ディスカッションを通して、大学におけるステークホルダーの具体的な分析を踏まえ、他大学との差別化を図るためのサービスモデルをどのように構築すれば良いのかを講義。
6) 大学教職員向けオンラインセミナー パネラー 新型コロナウイルス感染症拡大にともなう大学危機対応 ～意思決定と情報連絡体制を中心として～	2020年5月22日	新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、「学生・教職員・その他すべてのステークホルダーの健康と生命を守ること」と「高等教育機関として学びの機会を絶やさず提供すること」とを両立するための危機管理上の要点と危機に強い組織づくりをどのように進めるかについて、パネラーとして登壇。
7) 公益財団法人 大学基準協会 職員研修 講師	2020年1月10日	公益財団法人 大学基準協会の部長・課長および各大学から出向している職員を含め、「経営戦略」の講義とグループ・ディスカッションを踏まえ、協会の課題解決に向けたケースリードを行う。
8) 大正大学 管理職職員研修 講師	2019年11月29日	大正大学 各部署の部長級を中心とした管理職職員を対象に「環境分析と経営計画策定研修」について講義とグループ・ディスカッションを踏まえ、大学の課題解決に向けたケースリードを行う。
9) 神田外語大学(佐野学園) 職員研修 講師	2018年12月22日	神田外語大学(佐野学園) 職員を対象に「経営戦略の基本的な考え方」について講義。
10) 武蔵大学(根津学園) 管理職職員研修 講師	2017年8月28日 2017年8月24日	武蔵大学(根津学園) 管理職職員を対象に「経営戦略」について講義。
11) 大阪樟蔭女子大学 管理職職員研修 講師	2016年11月22日	大阪樟蔭女子大学管理職職員を対象に「経営戦略」について講義。
12) 早稲田大学 プロパティマネジメント研修 講師	2016年5月24日	早稲田大学部長級職員を対象に「経営戦略」について講義。
13) 早稲田大学オープンカレッジにて「業界別マーケティング・レジャー旅行業界」講師	2015年10月22日 2014年10月23日	社会人等を対象に「レジャー・旅行業界のマーケティング」を講義。
14) 早稲田大学オープンカレッジにて「ケースで学ぶ経営戦略・マーケティング速習」講師	2013年5月25日 2013年5月18日	社会人等を対象にケース教材を活用したケースメソッドによる「経営戦略」を2日間講義。
15) 全国信用協同組合連合会 意識付け・気づき研修 講師	2011年11月14日	全国信用協同組合連合会職員を対象に「経営戦略の基本」について講義。
16) 追手門学院大学 職員階層別研修 職能研修会 講師	2011年8月4日	追手門学院大学職員を対象に「プロジェクト・マネジメントと人材マネジメント」について講義。
17) 2010年 日本経営協会総合研究所 (NOMA) セミナーにて 基調講演	2010年8月25日	ホテルルポール麹町にて、「企業におけるマネジメントの重要性」をテーマに基調講演を行う。

18) 文部科学省補助事業 平成21年度研究拠点等形成費補助金「産学連携による実践型人材育成事業— サービス・イノベーション人材育成」サービス・イノベーション・プログラム 最終報告会 パネルディスカッションコーディネーター	2010年3月10日	西武文理大学にて、「イノベーション人材育成とケースメソッド教育」をテーマに、タニザワフーズ株式会社総務・人事グループ執行役員グループリーダー（当時、現在は名古屋文理大学健康生活学部准教授）河木智規氏、慶應義塾大学院経営管理研究科特別講師（当時、現在は名古屋商科大学経営学部教授）竹内伸一氏、本学専任講師（当時、現在は国士館大学経営学部教授）水野由香里氏を交え、パネルディスカッションを行い、そのコーディネーターを務める。
19) 早稲田大学 職員階層別研修「プロジェクト・マネジメント推進のためのMBAエッセンス講座」講師	2009年9月～ 2017年8月	早稲田大学7年目前後の職員を対象にプロジェクト推進を担うための研修として、「オペレーションズ・マネジメント」、「経営戦略」、「プロジェクト・マネジメント」、「人材マネジメント」を毎年1回（2日間）講義。
20) 埼玉県庁県職員「経営管理・組織管理研修」講師	2009年7月～ 2014年7月	主査級の埼玉県職員を対象に「経営管理」、「組織管理」全般について毎年1回（2日間）講義。
21) 文部科学省委託事業「サービス・イノベーション人材育成」サービス・イノベーション人材育成プログラム中間報告会 パネルディスカッションパネリスト	2009年3月23日	アルカディア市ヶ谷にて、「サービス・イノベーションのためのミドル・マネージャー育成戦略」をテーマに株式会社ミレニアムリテイリング人事部長（当時、現在は株式会社セブンカルチャーネットワーク代表取締役社長）萩原秀之氏、株式会社ジェイティーピーモチベーションズ取締役社長（当時、現在は株式会社JTBコミュニケーションデザイン常務取締役）大塚雅樹氏、がんこフードサービス株式会社常務取締役本部長（当時、現在は同社取締役副社長）新村猛氏を交え、パネリストとしてパネルディスカッションを行う。
22) 彩の国大学コンソーシアム さいたま遊学 講師	2008年9月5日	川越福祉センターにて、「世界の国々を歩いて見えてきた暮らしと価値観」をテーマに講演。
23) 東京都MICE (Meeting, Incentive, Convention, Exhibition) 人材育成講座	2009年2月2日 2008年8月25日	東京国際フォーラムにて、東京都による国際 MICE いかに関東へ誘致するかを目的に基礎知識からケーススタディも組み入れた体系的な研修で、都内のMICE担当のホテルマネージャーを対象に「マーケティング・プロモーション」を毎年 1回講義。
24) 早稲田大学オープンカレッジにて「ケースで学ぶマーケティングマネジメント速習」講師	2008年9月 ～2010年9月	社会人等を対象にケース教材を活用したケースメソッドによる「マーケティング」を毎年1回（2日間）講義。
25) 西武文理大学 第4回「生活お役立ち公開講座—旅のプロと語る」講師	2008年7月12日	西武文理大学の公開講座として「世界の街を歩く—お勧めの国や街々」をテーマに講演。
26) 雇用・能力開発機構東京センター大学等委託訓練「マーケティングマネージャー養成講座」講師	2008年7月 ～2008年9月	雇用促進策の一環として、失業者等を対象「マーケティング戦略」、「消費者行動」、「サービスマーケティング」を講義。
27) 狭山市まちづくり市民公開講座「まちのブランド化」パネルディスカッション コーディネーター	2008年1月24日	狭山市立中央公民館ホールにて、「まちのブランド化」をテーマに、日本総合研究所上席主任研究員（当時、現在は金子和夫事務所株式会社代表）金子和夫氏、狭山商工会議所専務理事 岡野陽三氏、入間川七ヶ通り商店街会長 吉田早苗氏を交え、パネルディスカッションを行い、そのコーディネーターを務める
28) 南山大学エクステンション・カレッジにて「マーケティングエッセンシャルズ」講師	2007年11月 ～2010年11月	社会人等を対象に「マーケティング戦略」、「プロダクトマネジメント」、「マーケティングリサーチ」、「消費者行動」を毎年1回（1～2日間）講義。
29) 静岡市役所市職員「公共マーケティング研修」講師	2007年10月31日	静岡市職員を対象に行政向けの「公共マーケティング」を講義。
30) 雇用・能力開発機構東京センター大学等委託訓練「マーケティングリサーチ養成講座」講師	2007年7月 ～2007年9月	雇用促進策の一環として、失業者等を対象「マーケティング戦略」、「プロダクトマネジメント」、「マーケティングリサーチ」、「消費者行動」を講義。
31) 埼玉県庁県職員「キャリアデザイン研修」講師	2006年9月 ～2009年8月	主幹級、主査級の埼玉県職員を対象に「キャリアデザイン」を毎年1～2回講義。

32) 埼玉県庁県職員「新任主幹級研修」講師	2005年6月 ～2008年6月	主幹級に昇格した埼玉県職員を対象にマネジメントについて毎年1回講義、
33) 鹿児島商工会議所主催「MBAセミナー」講師	2003年10月	鹿児島商工会議所にて、鹿児島県在勤の社会人等を対象にMBA関連科目を講義。
34) 福井県中小企業産業大学校主催「若手社員のためのMBAエッセンス速習講座」講師	2003年10月	福井県中小企業産業大学校にて、福井県在勤の若手社会人等を対象にMBA関連科目を講義。
35) 早稲田大学オープンカレッジにて「ケースで学ぶ経営戦略速習」講師	2003年5月 ～2009年5月	社会人等を対象にケース教材を活用したケースメソッドによる「経営戦略」を毎年1回（2日間）講義。
36) 南山大学エクステンション・カレッジにて「MBAエッセンシャルズ」講師	2002年11月 ～2013年6月	社会人等を対象に「経営戦略」、「マーケティング」を毎年1～2回講義。
37) 敬愛ビジネススクール（福岡）にて「MABベーシック」講師	2002年10月	社会人等を対象に「数量分析」、「人材マネジメント」を講義。
38) 明治大学リバティ・アカデミーにて「MBAベーシックスーMBAのエッセンス」講師	2002年7月 ～2004年7月	社会人等を対象に「マーケティング」、「人材管理」を講義。
39) 雇用・能力開発機構東京センター大学等委託訓練「MBA基礎講座」講師	2002年3月 ～2003年3月	雇用促進策の一環として、失業者等を対象に「経営戦略」、「マーケティング」、「オペレーションズ・マネジメント」、「人材マネジメント」を講義。
40) 明治大学リバティ・アカデミーにて「MBAのマーケティング」講師	2002年1月 ～2003年1月	社会人等を対象にケース教材を活用したケースメソッド方式による「マーケティング」を集中講義。
41) 早稲田大学オープンカレッジにて「ケースで学ぶ人材マネジメント速習」講師	2001年12月 ～2007年6月	社会人等を対象にケース教材を活用したケースメソッドによる「人材マネジメント」を毎年1回（2日間）講義。
42) 名古屋商工会議所主催「経営幹部のためのMBAセミナー」講師	2001年1月	名古屋商工会議所にて、企業経営者等の経営幹部対象にMBA関連科目を講義。
43) 早稲田大学オープンカレッジにて「12時間で学ぶMBAエッセンシャルズ」講師	2000年4月 ～2019年2月	社会人等を対象に経営戦略、「マーケティング」、「経営戦略」、「オペレーションズ・マネジメント」、「人材マネジメント」を早稲田校（2017年より中野校）、八丁堀校にて毎年に各4回講義（受講生は延べ4,000名を超える）。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1 MBAエッセンシャルズ第3版	共著	2019年5月2日	東洋経済新報社	<p>全体概要：欧米のMBAプログラムで学ぶ最も重要と思われるコアの8科目「ITとイノベーション」、「オペレーションズ・マネジメント」、「統計学」、「アカウンティング」、「ファイナンス」、「組織行動と人材マネジメント」、「経営戦略」、「マーケティング」に関して、事例を交えながら基本的な理論や概念等を解説。 担当部分概要：第8章「マーケティング」（pp.321-363）を執筆。</p> <p>マーケティングの章では、マーケティングの基本概念、プロセス、戦略の構築、立案に至るまでの考え方を理論とともに事例を交えて詳しく解説している。特に、マーケティングの基本概念的項では、ソサイエタル・マーケティング志向や価値主導型マーケティングの考え方へと移行しつつあることにも触れている。</p> <p>(ISBN:978-4-492-53399-4)</p> <p>共著者：内田学、平林信隆、岩瀬教智、兼子良久、宮島裕、柴田健一、内田由里子、高瀬浩</p>

2 MBAエッセンシャルズ第2版	共著	2008年10月9日	東洋経済新報社	<p>全体概要：欧米のMBAプログラムで学ぶ最も重要と思われるコアの8科目「経営経済学」、「オペレーションズ・マネジメント」、「統計学」、「人材マネジメント」、「アカウンティング」、「ファイナンス」、「経営戦略」、「マーケティング」に関して、事例を交えながら基本的な理論や概念等を解説。</p> <p>担当部分概要：第2章「オペレーション・マネジメント/OPM」(pp.41-92)、第4章「人材マネジメント」(pp.137-193)を執筆。</p> <p>オペレーション・マネジメントの章では、プロジェクトマネジメントからはじまり、最適化を求める各種の分析手法や考え方について事例を交え紹介し、企業の競争力の源泉にもなっているサプライ・チェーン・マネジメント(SCM)についても詳しく解説している。人材マネジメントの章では、マネジメントにおける代表的な考え方等を紹介しつつ、ブレイク&amp;ムートンのマネジリアル・グリッド、フィドラーの状況適応理論、ハーシイとブランチャードのSL理論などリーダーシップ領域で展開される理論なども詳しく解説している。</p> <p>(ISBN:978-4-492-53246-1)</p> <p>共著者：内田学、高瀬浩、野沢誠治、森下清隆、柴田健一、伊東直哉、兼子良久</p>
3 リージョナルバンカーのためのMBA基礎コース⑥ 人材マネジメント&組織行動	単著	2008年9月1日	全国地方銀行協会	<p>第1章：人材マネジメントの基本、第2章：組織の本質と組織行動、第3章：人間関係と欲求階層論、第4章：目標管理と評価、第5章：モチベーションの考え方、第6章：リーダーシップの理論、第7章：マネジメントの三大責務と能力構成、第8章：教育における訓練と開発、第9章：成果主義とコンピテンシーモデル、第10章：人材マネジメントのパラダイム変化といった章立てで構成され、主に地方銀行員向けに人材マネジメントと組織行動を解説している。(109頁)</p>
4 リージョナルバンカーのためのMBA基礎コース⑤ オペレーションズ・マネジメント	単著	2008年8月1日	全国地方銀行協会	<p>第1章：オペレーションズ・マネジメントに関する基礎知識、第2章：部分最適と全体最適、第3章：プロジェクト・マネジメント、第4章：意思決定における基本的な分析手法、第5章：ジャスト・イン・タイムとセル生産システム、第6章：サプライチェーン・マネジメント、第7章：制約条件の理論、第8章：マス・カスタマイゼーション戦略といった章立てで構成され、主に地方銀行員向けにオペレーションズ・マネジメントを解説している。(85頁)</p>
5 ステップアップ式 MBAマーケティング	単著	2005年1月27日	ダイヤモンド社	<p>基本的なマーケティングプロセスに沿って、実際にマーケティング戦略を進める上でどのような点に留意すればよいかを体系的に解説している。特に、成熟市場では製品の本質的機能より表層的機能の追求が有効であることを明らかにし、価格設定では普及促進が目的の場合、原価を下回る価格設定を行うこともある旨を事例を交えて示している。その他にも、ブランド戦略やワントゥワンマーケティングの重要性についても言及している。(246頁) (ISBN:4-478-50235-8)</p> <p>*尚、韓国でも2008年にOne&amp;One booksより翻訳され同書が出版されている。"The Essential of MBA Marketing" (ISBN:978-89-6060-074-4)</p>

6 MBAエッセンシャルズ 実践演習問題集	共著	2004年3月11日	東洋経済新報社	<p>全体概要：欧米のMBAプログラムで学ぶ最も重要と思われるコアの8科目「経営経済学」、「オペレーションズ・マネジメント」、「統計学」、「人材マネジメント」、「アカウンティング」、「ファイナンス」、「経営戦略」、「マーケティング」に関する理論や概念を整理するために、共著者が企業のショートケースをそれぞれ執筆し、ケーススタディの問題集としてまとめたもの。</p> <p>担当部分概要：担当部分概要：第4章「人材マネジメント」(pp.71-91)を執筆。</p> <p>人材マネジメントに関して、ホンダの事例を取り上げながら、マネジメントに必要な概念化能力について論じ、成果主義の問題点については富士通の事例をケースとして取り上げながら論じている。また、コンピテンシーモデルについては都市銀行の事例、早期人材育成の展開については日立製作所の事例をそれぞれケースとして書き上げ、人材マネジメントにおける今日的な課題について論じている。(ISBN:4-492-53172-6)</p> <p>共著者：内田学、森下清隆、山川秀之、桑田薫、高瀬浩、関正行、荻久保直志、野沢誠治</p>
7 ポータブルMBAキーワード99	共著	2003年7月10日	ディスカバートゥエンティワン社	<p>全体概要：MBAで学ぶコアの9科目「経営戦略」、「マーケティング」、「経営経済学」、「統計学」、「オペレーションズ・マネジメント」、「人材マネジメント」、「組織行動」、「アカウンティング」、「ファイナンス」に関する重要用語(キーワード)を解説。</p> <p>担当部分概要：PART5の「オペレーション・マネジメント/OPM」、PART6の「人材マネジメント」、PART7の「組織行動」(pp.105-178)を執筆。</p> <p>オペレーション・マネジメントの項では、PERTとCPMの考え方やジャスト・イン・タイム、サプライチェーン・マネジメントの有効性、制約条件の理論やセル生産方式などを解説している。また、人材マネジメントの項では、実際にマネジメントを行う上で必要な能力と責務、訓練と開発、目標管理と役割成果給などを解説している、加えて、組織行動の項では欲求解総論、SL理論、期待理論、行動強化理論、職務充実理論など各種の理論を解説している。(ISBN:4-88759-260-4)</p> <p>共著者：内田学、竹野洋一、桑田薫、高瀬浩、池田剛、荻久保直志</p>
8 MBA速習マーケティング ハンドブック	共著	2003年3月5日	PHP研究所	<p>全体概要：MBAのマーケティング専攻で学ぶコア部分となる「マーケティング戦略」、「プロダクト・マネジメント」、「マーケティング・リサーチ」、「消費者行動」、「サービス・マーケティング」、「流通」、「広告とコミュニケーション」、「インターナショナル・マーケティング」に関して、最近の事例を交えてその中で展開される理論や概念等を解説。</p> <p>担当部分概要：PART6の「流通」(pp.179-212)を執筆。</p> <p>流通の効用とチャネル階層、チャネル政策、チェーンオペレーション、流通の系列化と統合、ナショナル・ブランドとプライベート・ブランド、業態の変化と小売の輪、情報システムの活用など流通全般について論じている。また、創業からわずか30年足らずでシアーズを抜き、世界最大の流通業者になったウォールマートの強さについても言及している。(ISBN:4-569-62672-6)</p> <p>共著者：内田学、赤沢昌樹、豊田裕貴、鈴木成美、桑田薫、高瀬浩、伊藤直哉、竹野洋一</p>

9 MBA速習ハンドブック	共著	2002年7月29日	PHP研究所	<p>全体概要：MBAプログラムで学ぶコア科目「経営経済学」、「マーケティング」、「経営戦略」、「オペレーションズ・マネジメント」、「統計学」、「組織行動」、「アカウンティング」、「ファイナンス」に関して、基本となる理論や概念等を解説。</p> <p>担当部分概要：PART4「オペレーション・マネジメント/OPM」(pp.93-120)を執筆。</p> <p>企業活動における様々な制約条件の中で、どのようにしたら最適な解を導き出すことができるかという観点から、意思決定に有用な基本的な分析手法を紹介している。また、部分最適と全体最適の相違、ジャスト・イン・タイムやサプライチェーン・マネジメントの有効性、個別受注生産の仕組みなどにも触れている。加えて、デルの価格優位の仕組みについても明らかにしている。</p> <p>(ISBN:4-569-62281-X)</p> <p>共著者：内田学、竹野洋一、桑田薫、高瀬浩、池田剛、荻久保直志</p>
10 MBAエッセンシャルズ	共著	2001年6月19日	東洋経済新報社	<p>全体概要：欧米のMBAプログラムで学ぶ最も重要と思われるコアの8科目「経営経済学」、「オペレーションズ・マネジメント」、「統計学」、「人材管理」、「アカウンティング」、「ファイナンス」、「戦略計画」、「マーケティング」に関して、事例を交えながら基本的な理論や概念等を解説。</p> <p>担当部分概要：第2章「オペレーション・マネジメント/OPM」(pp.52-91、pp.346-348)、第4章「人材管理」(pp.145-190、pp.353-354)を執筆。オペレーション・マネジメントの章では、プロジェクトマネジメントからはじまり、最適化を求める各種の分析手法や考え方について事例を交え紹介し、企業活動における同期化と全体最適化の重要性を論じている。人材管理の章では、マネジメントの歴史的変遷を辿りながら人材管理における代表的な各種理論を紹介している。また、コンピテンシーモデルを活用した新しい人事評価制度の考え方とその有効性についても言及している。</p> <p>(ISBN:4-472-53117-3)</p> <p>共著者：内田学、野沢誠治、森下清隆、荻久保直志、高瀬浩、山田裕美子</p> <p>*尚、韓国でも2001年にMAEIL BUSINESS NEWSPAPERより翻訳され同書が出版されている。"MBA ESSENTIALS" (ISBN : 89-7442-221-2)。同書の担当部分は、pp59-105、pp157-206、pp373-375、pp379-380</p>
(学術論文) 1「旅行業におけるロイヤルティの創出と諸問題」 ～ロイヤルティを主軸としたマーケティングの新展開～	単著	1996年3月	法政大学大学院 社会科学部研究科経営学専攻 修士課程修士論文	<p>旅行業の特質を論じながら、サービス・マーケティングとしての視点から顧客満足と、その形成に大きな影響を与えるカスタマー・ロイヤルティの蓄積過程を大手旅行会社のデータと顧客アンケートによって分析し、旅行業におけるロイヤルティの蓄積過程をモデル化した。こうした試みによって、旅行業における今後の展開の中でカスタマー・シェア重視に向けたロイヤルティの高い層へのきめ細かいデータベース化の重要性を明らかにしている。そして、ロイヤルティを主軸にしたマーケティングの新展開を示す。</p>
(その他) [報告書]				

1 教育の質を担保する「学習・キャリア支援センター」の設立と運営（最終報告書）	編著	2012年3月31日	平成21～23年度 文部科学省 大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）最終報告書 pp.1-29、pp.124、pp.140-141、pp.147-148、pp.171、pp.236-237	西武文理大学で2009年度より文部科学省の大学革新推進等補助金事業として実施された「大学教育・学生支援推進事業」の最終報告書としてまとめたもの。本取組は、個別・少人数制で基礎学力や論理的思考力を醸成するために「学習・キャリア支援センター」を設立・運営してきたが、その最終報告として中間報告(2010年)以降のセンターの運営実態とリメディアル教育・キャリア支援の先進的事例の調査報告及び外部評価等から学習・キャリア支援の効果を検証している。 共著者：高瀬浩、松澤祐介、水野由香里、金子章予、宮島健次、岩井さやか、古阪肇、竹島和正、大島知也、鈴木啓章、成勢智明、神谷幸靖、野浪晶子、赤城知里、藤森裕治、新井浅浩
2 サービス・イノベーション人材育成プログラム最終報告会 パネルディスカッション報告	共著	2010年6月30日	西武文理大学 サービス経営学部 研究紀要 第16号 pp.115-122	西武文理大学で2007年度より文部科学省の委託事業「サービス・イノベーション人材育成推進プログラム」（2009年度より研究拠点形成費等補助金）を進めてきた成果発表の場として、2010年3月10日に開催されたプロジェクトの最終報告会でのパネルディスカッションの報告。 共著者：水野由香里、高瀬浩
3 教育の質を担保する「学習・キャリア支援センター」の設立と運営（中間報告書）	編著	2010年4月1日	平成21～23年度 文部科学省 大学改革推進等補助金（大学改革推進事業）「大学教育・学生支援推進事業」（学生支援推進プログラム）中間報告書 平成21年度 pp.1-17、pp.62-70、pp.86-91	西武文理大学で2009年度より文部科学省の大学革新推進等補助金事業として実施された「大学教育・学生支援推進事業」の中間報告書としてまとめたもの。本取組は、個別・少人数制で基礎学力や論理的思考力を醸成するために「学習・キャリア支援センター」を設立・運営してきたが、その中間報告としてセンターの運営実態とリメディアル教育・キャリア支援の先進的事例の調査報告及び外部評価等から学習・キャリア支援の効果を検証している。 共著者：高瀬浩、松澤祐介、水野由香里、金子章予、宮島健次、金澤良昭、鎌田裕美、石井香苗、岩井さやか、北川頌悟、竹島和正、古阪肇、坂口真央
4 サービス・マネジメント研究をめぐっての諸課題	共著	2007年4月30日	西武文理大学 サービスマネジメント研究会 2006年度 報告書	担当部分概要：第4部：エクセレントカンパニーから学ぶサービス・マネジメント 第2章「価値提供型から価値共創型ビジネスモデルへの転換」～クラブツーリズムの事例をもとに～（pp.84-95）を執筆 2005年7月に行った、クラブツーリズムへのフィールドワークをもとに、顧客とともに商品を作り上げていく共創型ビジネスモデルの有効性について事例を交えながら論じている。特に、既存の旅行会社にはないクラブを通じた商品造成から商品運営に至るまで顧客が深い関わりを持つことによって生まれる高いロイヤルティの仕組みを共創化というキーワード明らかにしている。 共著者：小山周三、菊池英雄、白井義男、小玉武生、中村千春、高瀬浩
5 旅行業におけるサービス・マーケティング	単著	1996年9月30日	財団法人日本交通公社による公募研究として、第30回観光文化振興基金による研究助成対象	サービス業における無形性の概念を整理し、無形性であるが故の購買前の期待と購買後の満足との差によって生じる満足やクレームを生かすマネジメントの強化を説く。特に、購買前、購買中、購買後といった旅行の生産・消費過程において、顧客とのインターラクティブな関係が、結果的には業績向上に繋がることをヘスケットらのフレームワークを使い示している。単なるプッシュ型マーケティングから、ワン・トゥー・ワンの顧客関係維持型マーケティングへの転換の重要性を示唆している。
【雑誌】 1 MBA講座 人材管理⑧（週刊東洋経済）	単著	2003年7月12日	東洋経済新報社	MBA講座 第60回 人材管理⑧（pp.120）を執筆「スキナーの強化理論」、「ハックマンとオルダムの職務充実理論」について解説。

2 MBA講座 OPM⑧ (週刊東洋経済)	単著	2003年6月28日	東洋経済新報社	MBA講座 第58回 OPM⑧ (pp.98) を執筆 「全体最適と部分最適」、「ドラマ・バッファ・ ロープ」について解説。
3 MBA講座 人材管理⑦ (週刊東洋経済)	単著	2003年5月17日	東洋経済新報社	MBA講座 第52回 人材管理⑦ (pp.94) を執筆 「コミットメント」、「早期人財育成」について 解説。
4 MBA講座 OPM⑦ (週刊東洋経済)	単著	2003年5月3日	東洋経済新報社	MBA講座 第50回 OPM⑦ (pp.86) を執筆 「コンカレント・エンジニアリング」、「セル生 産方式」について解説。
5 MBA講座 人材管理⑥ (週刊東洋経済)	単著	2003年3月15日	東洋経済新報社	MBA講座 第44回 人材管理⑥ (pp.84) を執筆 「ビジョンの重要性」、「変革へのプロセス」に ついて解説。
6 MBA講座 OPM⑥ (週刊東洋経済)	単著	2003年3月1日	東洋経済新報社	MBA講座 第42回 OPM⑥ (pp.152) を執筆 「ICタグの利用」、「Webサービス」について 解説。
7 MBA講座 人材管理⑤ (週刊東洋経済)	単著	2003年1月18日	東洋経済新報社	MBA講座 第36回 人材管理⑤ (pp.92) を執筆 「SL理論」、「X理論、Y理論」について解説。
8 MBA講座 OPM⑤ (週刊東洋経済)	単著	2003年1月4日	東洋経済新報社	MBA講座 第34回 OPM⑤ (pp.108) を執筆 「線形計画法」、「クロスオーバー分析」につい て解説。
9 MBA講座 人材管理④ (週刊東洋経済)	単著	2002年11月6日	東洋経済新報社	MBA講座 第28回 人材管理④ (pp.92) を執筆 「人材管理の基本的考え方」、「マネジメントの 責務」について解説。
10 MBA講座 OPM④ (週刊東洋経済)	単著	2002年11月2日	東洋経済新報社	MBA講座 第26回 OPM④ (pp.88) を執筆 「サプライチェーン・マネジメント (SCM)」、「ジャスト・イン・タイム (JIT)」について解説。
11 MBA講座 人材管理③ (週刊東洋経済)	単著	2002年9月21日	東洋経済新報社	MBA講座 第20回 人材管理③ (pp.54) を執筆 「コンピテンシーモデル」、「マネジメントの能 力構成」について解説。
12 MBA講座 OPM③ (週刊東洋経済)	単著	2002年9月7日	東洋経済新報社	MBA講座 第18回 OPM③ (pp.78) を執筆 「BTO (個別受注生産)」、「(ERP) 統合業 務システム」について解説。
13 MBA講座 人材管理② (週刊東洋経済)	単著	2002年7月20日	東洋経済新報社	MBA講座 第12回 人材管理② (pp.112) を執筆 「目標管理」、「期待理論」について解説。
14 MBA講座 OPM② (週刊東洋経済)	単著	2002年7月6日	東洋経済新報社	MBA講座 第10回 OPM② (pp.48) を執筆 「クリティカル・パス・メソッド (CPM)」、 「損益分岐分析」について解説。
15 MBA講座 人材管理① (週刊東洋経済)	単著	2002年5月25日	東洋経済新報社	MBA講座 第4回 人材管理① (pp.44) を執筆 「成果主義」、「高業績組織」について解説。
16 MBA講座 OPM① (週刊東洋経済)	単著	2002年5月11日	東洋経済新報社	MBA講座 第2回 OPM① (pp.76) を執筆 「制約条件の理論」、「ブルウィップ効果」につ いて解説。
[刊行物]				
1 ミットヨレポート No.252	単著	2011年9月	株式会社ミットヨ	巻頭言にて「現状からの脱皮!」と題して、膨れ 上がる国の借金と日本企業の国際競争力衰退とい う現状から、今より一段高い位置から社会を見て 全体最適化を促す変革の必要性を説く。